

誰でもできる有機稲作—有機農法と自然農法・その成立条件—

戦後長い間、日本の農民は農薬がなければ省力な稲作はできないと思込まされてきました。そもそも除草剤の開発は農家の主婦（お袋）の厳しい草取り労働を解放させたいという農家出身の研究者の熱い思いでした。

それが環境負荷という重い荷物を背負いながら今日的な「除草剤を使わないイネづくり」の探求が始まって20年、遂に慣行栽培を超える抑草技術がはっきりと姿を現し始めました。

2回代かきによる抑草法・米ぬか投与によるトロトロ層形成抑草法・アイガモ農法・紙マルチ・機械除草などが実用技術として普及されてきました。

その現場をみながら、化学肥料や農薬に頼らず自然の循環機能を活かした稲作（有機稲作・自然農法稲作）の今日的課題と技術開発・普及のあり方を考えたいと思います。

農家のみなさまはもとより、政治や行政、報道に関わる方々、そして消費者のみなさまも、是非お誘いあわせてご参加下さい。

記

- 1 日 時 8月20日（水）午後1：00～21日（木）午後4：00
- 2 視察場所 山寄農場・板垣農場・蒲沢農場／三条市、内山農場／柏崎市
- 3 宿泊地 嵐溪荘（新潟県三条市長野1450 TEL0256-47-2211）
- 4 参加費 全日程参加 17,000円 部分参加は下記参照
- 5 日程 別紙
- 6 主催団体 NPO法人民間稲作研究所：自然農法国際研究開発センター：三条市有機農業連絡協議会：
新潟県有機稲作ねっとわあく：株式会社タイワ精機
- 7 問合せ及び申込先 NPO法人民間稲作研究所 TEL/fax0285-53-1133/1512 e-mail: inaba@inasaku.or.tv

申 込 書

ご氏名 _____ TEL _____

ご住所 _____

※「全日程参加」または「部分参加」の□に印をつけ、各項目に○をつけ、ファックス又はメールでお申込み下さい。（「部分参加」の場合は総額を記載して下さい。） 締め切り 7月31日 厳守

<input type="checkbox"/> 「全日程参加」		
バス利用する		両日とも
		20日のみ
		21日のみ
バス利用しない	/	
総 額	17,000円	

<input type="checkbox"/> 「部分参加」			
20日		バス利用(栄庁舎～嵐溪荘)	2,500円
		現地見学・研修会	500円
		懇親会	5,500円
		宿泊	10,000円
21日		バス利用(栄庁舎～柏崎～栄庁舎)	1,000円
		研修会	2,000円
総 額			

日程及び内容

8月20日(水)

- 12:30 三条市栄庁舎前集合
- 12:40 山寄農場→板垣農場→蒲沢農場
- 15:00 漢学の里 2階研修室

- 実践報告1 山崎農場における有機稲作の歩みと技術問題
山崎農場代表 山崎哲矢
- 実践報告2 MOA自然農法のイネづくり
MOA三条普及会 田辺稔
- 実践報告3 自然農法に取り組んで
佐藤農場代表 佐藤繁男
- 実践報告4 三条市における学校給食の取組み
三条市健康づくり課食育推進室 田村直
- 研究報告1 有機米の品質(窒素安定同位体比)と食味について
自然農法国際研究開発センター 藤田正雄

- 17:30 嵐溪荘着
- 18:00 懇親会

8月21日(木)

- 8:30 嵐溪荘出発 → 内山農場/柏崎市 → 木村農場/月潟 有機水田視察
- 10:30 三条市栄庁舎へ
- 11:00 実践報告5 内山農場の有機稲作—トロトロ層の形成について
内山農場代表 内山常蔵
- 実践報告6 自然農法における抑草技術の現状と課題
自然農法実践農家 木村久一
- 実践報告7 タイワ精機及び会員農家実証田の成果と課題
株式会社タイワ精機 営業部
- 研究報告2 有機稲作の技術問題—抑草技術から水田の生態管理技術へ
NPO法人民間稲作研究所 稲葉光國

12:00 昼食・試写会(これからの昔のイネづくり)

- 13:00 有機農業・自然農法を核とした地域づくり—**モデルタウンづくりをめぐる**
コーディネーター 栗生田忠雄(新潟大学農学部)
実践報告 稲葉光國(NPO法人民間稲作研究所)
実践報告 板垣和弥(三条市農林課)
パネラー 堀井修(新潟県魚沼地域振興局)
山崎哲矢(新潟県有機稲作ねっとわあく)
内山常蔵(新潟県有機稲作ねっとわあく)
宮尾浩史(新潟県有機稲作ねっとわあく)
山村喜一郎(越前おおの・阪谷有機の里づくり推進協議会)
(または、南都志男(自然農法国際研究開発センター北陸地区普及所))

16:00 閉会